

愛知国際病院ホスピスだより

2013. 1

〒470-0111 愛知県日進市米野木町南山 987-31
電話 代 表 (0561)73-7721
ホスピス (0561)73-3191

年頭にあたって

ホスピス医師 大村 浩之

私は小学生の頃から NHK 大河ドラマに興味を持ち、中でも「国盗り物語」、「花神」など司馬遼太郎さんの作品が好きでした。歴史小説作家である司馬さんが、小学校6年生の国語教科書のために書き下ろした「二十一世紀に生きる君たちへ」という著作があります。「歴史小説を書くよりもずっと大変だった」というくらい渾身の力をこめて、21世紀の日本人に「歴史から学んだ人間の生き方の基本的なこと」を語りかけた名文です。「自分は何のために生きているのか?」「何を大切に毎日仕事しているのか?」ふと考える時、この本を繰り返し読んでいます。

自然物としての人間は、決して孤立して生きられるようにはつくられていない。このため、助け合う、ということが、人間にとって、大きな道徳になっている。助け合うという気持ちや行動のもとのものは、いたわりという感情である。他人の痛みを感じることも言ってもいい。やさしさと、言いかえてもいい。

「いたわり」「他人の痛みを感じること」「やさしさ」

みな似たような言葉である。この三つの言葉は、もともと一つの根から出ているのである。根といっても、本能ではない。だから、私たちは訓練してそれを身につけねばならないのである。その訓練とは、簡単なことである。例えば、友達がころぶ。ああ痛かったらうな、と感じる気持ちを、そのつど自分の中でつくりあげていきさえすればいい。

私たちホスピスで働くスタッフは、患者さん、ご家族の苦痛を感じる「訓練」をさせていただいていると思います。ホスピスでの「訓練」は司馬さんが言うように簡単ではありませんが、一人一人の中で「他人の痛みを感じる」気持ちをつくりあげる努力をしています。そして、「いたわり」「やさしさ」を表現したり行動したりする能力を個人として、チーム全体として向上させていきたいと思っています。人間が生きることの本質そのものを職業としている幸せと責任を強く感じさせてくれる司馬さんのメッセージは、今年も私にとって生きる指針であり続けるでしょう。



天国の窓をさがして	心が汚れているからか
あらゆる窓をあけてきた	天国なんて初めからないのか
華やかな窓も慎ましい窓も	
見知らぬ異国の宿のきしむ窓も	ある朝目覚めると
	窓があいていた
今度こそはとひらいても	桃色の雲が光っていた
窓の向こうはいつもこの世	天国の窓だった
何度見ても同じ顔の	
鏡の中の疲れた自分のように	こちらからあけた窓は
	すべてこの世の窓
どうして見つからないのだろう	天国の窓は
努力が足りないのか	あちらがあげる

晴佐久昌英氏の『天国の窓』という詩に出会いました。「あちらがあげる天国の窓」の風景がどのようなものなのかと考えました。一人ひとりの窓の風景があるのだろうと思います。詩の中にある窓の外には「桃色の雲」が光っていました。ふと「天国の窓があいた」その時を迎える方々の表情を思い出しました。ゆっくりと力が抜け、何かに包まれていくような感覚・・・天国の窓のあいたとき、その方々が詩のような景色を笑顔で見つめていて下さっていたとするならば、お別れは悲しいですが、穏やかなときを過ごしていらっしやるのだろうと嬉しく思えます。窓がいつあくかはあちらが決めるのですからわかりません。しかしその時を迎えるまで精一杯その人らしく生きて頂くために最善を尽くし、その方々の窓の向こうが優しく穏やかな風景であるようにお手伝いをさせていただきます。

ホスピス病棟 ご入院までの流れ

担当：ホスピス相談員 眞能加奈子

①相談窓口へお電話でご連絡下さい。0561 - 73 - 3191 (相談外来予約電話)

[受付時間] 月～金曜日 午前9時～午後4時

ご本人の現在のご病状、治療されてきた経過などお聞かせいただいた上で、ホスピス外来の日程を決定いたします。(ホスピス外来は予約制です。ホスピス外来日：月・水・金午後2時～4時)

②ご予約の日時にホスピス外来へお越し下さい。

(ホスピス医師、看護師が相談をお受けします)

必要なもの：紹介状、レントゲン、血液検査結果、患者様の保険証

※患者様が来院できない場合、ご家族の方、代理の方のみでも結構です。

③ご入院の準備が整いましたら、担当者よりご連絡いたします。



ボランティアの募集から活動開始まで（2013年度の予定）

ボランティアグループ「紫苑」の新しいボランティアを募集する時期が近づいてきました。募集から活動開始までの流れを簡単にご紹介します。

入門講座（4月上旬予定）

当院のボランティアについて分かりやすく説明いたします。スライドを使っての活動内容の説明、ボランティアによる体験談を聞いていただき、ボランティア活動が自分にふさわしいかどうかを知っていただくための会です。活動を希望する方には、申込書をお渡しし、募集要項などについて説明を聞いていただきます。

※活動内容の説明は、口頭だけでなかなかお伝えしづらいので、ボランティア活動に興味のある方は気軽にご参加下さい。

応募（締め切り：4月末頃）

申込書を郵送で提出していただきます。

面接（5月のゴールデンウィーク明け頃）

お一人ずつ複数の職員と15分ほどの面接をしていただきます。面接の第一の目的は、ご自分の希望なさっている活動内容をお聞きし、当院で活動していただけるかどうかご相談することにあります。

※一年以内に同居されている方を亡くされた方は、活動開始するのを一年お待ちいただいています。

また学生の方にはご遠慮いただいています（長期にじっくり活動をしていただきたいため）。

養成講座（6月から7月中旬頃まで、約1ヶ月間）

活動を始める前に知っていただきたい当院のボランティアの理念や規則などについてお話しします。（昨年の養成講座は以下の通り5回の講座を行いました。）

- ①「ホスピスとは（理念、歴史）」「ホスピス見学」
- ②「患者の身体的・心理的变化（入院から退院までの経過）」「病院本館見学」
- ③、④「紫苑の約束」「活動体験」「衛生管理（手洗い・おしぼり作り実習）」「フラワーアレンジメント実習」
- ⑤「養成講座で学んだことの振り返り」「修了式（修了証・名札の贈呈）」

活動開始（7月中旬頃）

それぞれ希望のボランティア活動を開始していただきます。

☆日程は、昨年度を参考にしたおおよその目安です。

「ボランティアを半年間経験して」（ボランティア1年目）

養成講座でボランティア活動を見学したとき「ここでやれるかな」と不安に思いましたが、「先輩のみなさんから勉強させてもらおう」「こんな自分にでも何かできることがあればさせていただこう」という思いではじめました。半年が過ぎました。ホスピスで日々を精一杯生きておられる方々の姿に触れ、「自分も一日一日大切に生きなきゃいけない」と思うようになりました（聞き手：中井）

ホスピスのボランティア活動は1999年のホスピス開設と同時に始まり、今年の4月に14年目に入ります。ボランティアの募集は初年度から実施していますが、現在のようなボランティア活動を紹介する入門講座を開催するようになったのは、2004年以降のことです。

この入門講座を始めた理由は2つあります。ひとつは病院の近隣地域、日進・みよし・豊田など地元の方々に当院のボランティアを広く知っていただきたいからでした。最近では名古屋市内よりも近隣地域からのボランティアが多くなってきました。自分の住む地域に関心を持つ方々が増えてきているようです。

もうひとつの理由は、実際に当院まで足を運んでいただき、ホスピスの環境や雰囲気を五感で感じていただきたいということです。よくお電話で活動内容についてお問合せを受けるのですが、言葉の説明だけで理解していただくのはなかなか難しいのです。お忙しい中を受講のためにわざわざおいでいただくのは申し訳ないのですが、実際に活動する場所に身を置いて、ホスピス・ホスピスケアについて、またボランティア活動について、スタッフとボランティアからの話を聞いていただくことが大切ではないかと思っています。患者さんのいらっしゃる2階は見学できませんが、参加されると「実際に来てみると想像していた病院とずいぶん違います」とおっしゃる方が多いようです。

次回のボランティア入門講座は4月上旬に予定しています。少しでも関心をお持ちの方は、お気軽にご参加下さり、ボランティア応募の参考にして下されば幸いです。日程など詳細については2月中旬頃には決まりますので、その頃になりましたら下記にお問合せ下さい。

連絡先 070-5645-8252 ボランティアコーディネーター 高田

明日葉の会へのお誘い

明日葉の会は、愛知国際病院ホスピスで大切な家族の看取りを経験した方々が集まり、思いを声に出し、分かち合う会です。「明日葉」という植物は、今日摘んだ芽が明日には伸びてくるというほどの生命力の強い植物で、それにあやかり会の名前としました。家族を看取られてから半年以上を過ぎた方を対象として、偶数月の第3土曜日午後2時から4時、病院の一室をお借りして集いを行っています。続けて来られる方も、間を空けて来られる方もおられますので、ご都合がつく時に自由にご参加ください。

詳しくは世話人（家族代表）の太田博文までお問い合わせ下さい。

連絡先 〒470-1153 愛知県豊明市前後町三ツ谷1277-3 太田博文
TEL 0562-92-2294 Fax0562-92-8294 E-mail h-ohta@pop21.odn.ne.jp

賛助会員募集のお知らせ

愛知国際病院ホスピスでは、賛助会員を募集しています。アメニティーの充実（施設環境、造園、園芸）、ホスピスでの諸行事、ホスピス相談の充実、広報啓蒙活動、家族会の開催、ボランティアの活動、教育活動のために是非ご協力をお願いいたします。（ご入会いただいた方には年4回発行の病院だより「みなみやま」と年2回の本誌をお送りいたします）

入会方法

下記の口座に会費をお振り込み下さい。

郵便振替口座 00890-5-3757

口座名義 愛知国際病院ホスピス賛助会

一口1000円（おいくらでも結構ですが、できましたら5口以上でお願いいたします）